

授業概要

地球温暖化による気候変動や原子力事故による放射能汚染などの環境問題が深刻化するなか、企業が事業活動に伴う資源・エネルギー消費と環境負荷の発生を抑制し、事業エリア内での環境負荷低減だけでなく、グリーン調達や環境配慮製品・サービスの提供等を通じて、持続可能な消費と生産を促進すること、つまり「環境経営」の重要性が高まっている。本授業は、将来、若手ビジネスパーソンとしての皆様が、「環境経営」の意義、あり方、評価方法と様々な課題について理解・説明できるよう、企業の実例を交えて丁寧にかつわかりやすく講義する。

授業計画

第1回	ガイダンス：授業の概要と成績の評価について
第2回	今日の環境問題と持続可能な経済社会の実現
第3回	環境と経済と経営・会計との関わり
第4回	各産業の環境保全活動と重点取組分野
第5回	環境経営と環境マネジメントシステム
第6回	環境経営の評価と環境パフォーマンス
第7回	環境経営の評価と環境会計
第8回	環境経営の評価と環境効率
第9回	環境経営の評価と環境コミュニケーション
第10回	天然資源枯渇問題と関連企業の環境経営
第11回	地球温暖化問題と関連企業の環境経営
第12回	産業廃棄物問題と関連企業の環境経営
第13回	生物多様性の劣化と関連企業の環境経営
第14回	化学物質管理と関連企業の環境経営
第15回	まとめ 環境経営の今後について
第16回	筆記試験（持込可）

到達目標

本授業は、将来、若手ビジネスパーソンとしての皆様が、「地球的視点」を持ち、「環境経営」の意義、あり方、評価方法と様々な課題について理解・説明できることを到達目標にしている。

履修上の注意

1. 学生の理解度や関心度に合わせ、授業計画を一部変更する場合がある。
2. 意欲的な姿勢で授業に参加することを期待する。

予習復習

日々の積み重ねが大切なので、授業計画にそって、講義内容の予習と復習をすること。

評価方法

受講態度 40%、筆記試験（持込可）60%の成績をもって総合評価する。

テキスト

テキストは使用しない（参考書や関連新聞記事のプリントをその都度配布する）